

「Hi, friends! 1」と「Sunshine 1」の連携カリキュラム

月	単元名(時数)	単元目標	活動例	表現例・語彙例	中学校との関連
4	Lesson 1 Hello! ～世界のいろいろな言葉であいさつしよう～ 言語挨拶 (2)	・積極的に挨拶をしようとする。 ・英語での挨拶や自分の名前の方に慣れ親しむ。 ・世界には様々な言語があることを知る。	◆英語での挨拶や自分の名前の方に慣れ親しむ 【Let's Listen 1】 「()に名前を書こう」 ○「あいさつしよう」 ○「指導者とあいさつしよう」 ○「列ごとにあいさつしよう」 【Let's Chant】チャンツ “Hello” 【Let's Play】 「あなたの名刺を作ろう」 ◆世界には様々な挨拶があることを知り、積極的に英語で名前を言って挨拶をしようとする。 【Let's Chant】チャンツ “Hello” 【Let's Listen 2】 「どの国のあいさつか、考えよう」 【Let's Listen 3】 「()に名前を書こう」 【Activity】 「友だちと名刺をこうかんしよう」	Hello. What's your name? My name is ... Thank you. Goodbye. hello, name, what, your, my, is, you, thank, goodbye	◆ Let's Start ◆ ① 新しい友だちをつくろう 【あいさつ】 ① Hello [Good morning/ afternoon], everyone. Hello [Good morning/ afternoon], Mr. [Ms.] _____. How are you? Fine, thank you. [Not bad. / I'm OK. / So-so.] ② Goodbye [Bye], everyone. Goodbye [See you], Mr. [Ms.] _____. ③ Hi, my name is _____. I'm _____, nice to meet you. ④ Bye, _____. See you tomorrow [later/ soon]. ◆ Program 2 ◆ ① 自分の名前を言い、相手の名前も言えるようにしよう。 Hi, I am Saki. Oh, you are Saki. I'm Tom.
<p><連携のポイント> 小学校では、会話やコミュニケーションのスタートとなる英語での挨拶に慣れ親しみ、中学校で定着を図る。また、授業の冒頭に、指導者とのネームカードを使った挨拶を行ったり、ペア学習を多く取り入れたりして、相手意識をもたせるとともに、英語を通して触れ合う楽しさを味わわせたい。中学校においても小学校と同じような活動を行い、ストレスなく中学校の学習に移行できるようにしたい。</p>					
4	Lesson 2 I'm happy. ～ジェスチャーをつけてあいさつしよう～ ジェスチャー感情・様子 (2)	・表情やジェスチャーをつけて相手に感情や様子を積極的に伝えようとする。 ・感情や様子を表したり尋ねたりする表現に慣れ親しむ。 ・表情やジェスチャーなどの言葉によらないコミュニケーションの大切さや、世界には様々なジェスチャーがあることに気付く。	◆感情や様子を表したり尋ねたりする表現に慣れ親しむ ○「あいさつしよう」 【Let's Listen】 「だれがどんな様子か、線で結ぼう」 ○「ミッシングゲーム」 ○「ジェスチャークイズ」 ○「ジェスチャーをつけて答えよう」 【Let's Sing “Hello Song”】 ◆表情やジェスチャーなどの大切さや世界には様々なジェスチャーがあることを知り、表情やジェスチャーをつけて感情や様子を積極的に伝えようとする。 ○「指導者とあいさつしよう」 【Let's Sing】 “Hello Song” 【Let's Play】 「どんなことを表しているか、口に番号を書こう」 【Activity】 「ジェスチャーをつけてあいさつをしよう」 ●友だちはどんな様子か、友だちの名前を書こう。	How are you? I'm fine/happy, fine, sleepy, hungry, how, are, I, am, (I'm)	◆ Let's Start ◆ ① 新しい友だちをつくろう 【あいさつ】 ① Hello [Good morning/ afternoon], everyone. Hello [Good morning/ afternoon], Mr. [Ms.] _____. How are you? Fine, thank you. [Not bad. / I'm OK. / So-so.] ② Goodbye [Bye], everyone. Goodbye [See you], Mr. [Ms.] _____. ③ Hi, My name is _____. I'm _____ nice to meet you. ④ Bye, _____. See you tomorrow [later/ soon]. ◆ Reading 1 英語の掲示・標識など◆ 【掲示・標識・信号・ジェスチャー】 Wash Your Hands, Watch Your Step, Don't Drink, Don't Run, Stop, Don't Walk, Watch Your Head, Do not Swim, Quiet your, hand, head, swim, look, this, see, it, know, same, Japan, be
5	<p><連携のポイント> 小学校では、感情や様子を相手により分かりやすく伝えるために、言葉だけでなく、表情やジェスチャーを使うことの大切さに気付かせ、習慣化させておきたい。中学校においても、小学校での学習内容を把握した上で、学習を進めていきたい。</p>				
5	Lesson 3 How many? ～いろいろなものを数えよう～ 数の回りの物 (4)	・積極的に数を数えたり、尋ねたりしようとする。 ・1～20の数の言い方や数の尋ね方に慣れ親しむ。 ・言語には、それぞれの特色があることを知る。	◆英語での物の数え方の特色を知り、1～10の数の言い方に慣れ親しむ。 【Let's Play 1】「じゃんけんゲーム」 【Let's Listen】 「どこの国の数の言い方か、口に番号を書こう」 【Let's Play 2】 「いくつあるか、数えよう」 【Let's Chant】 チャンツ “How many balls?” ○「キーナンバーゲーム」 ◆数のたずね方や11～20の数の言い方を知る。 【Let's Play 1】「じゃんけんゲーム」 【Let's Chant】 チャンツ “How many balls?” ○「キーナンバーゲーム」 ○「ピンゴゲーム」 ○「ステレオゲーム」	How many pencils /dogs / cats? One, two, three, ... , twenty. how, many, one ~ twenty, cat (s), dog (s), pencil (s), apple (s)	◆ Word Web 1 ものの言い方◆ ① 英語の数 ② 数字を含む表現 年齢、電話番号、値段、西暦 【数0～21, 30, 40… 90, 99, 100, 101, 122, 200, 999, 1000】 zero, one two, three, four, five, six, seven, eight, nine, ten, eleven, twelve, thirteen, fourteen, fifteen, sixteen, seventeen, eighteen, nineteen, twenty, twenty-one, thirty, forty, fifty, sixty, seventy, eighty, ninety, ninety-nine, one hundred, one hundred (and) one, one hundred (and) twenty-two, two hundred, nine hundred (and) ninety-nine, one thousand 【年齢、電話番号、値段、西暦】 I'm 12 [13]. 5364-7209, 3,450 yen, 1 dollar, 2012 2008
6					

「Hi, friends! 1」と「Sunshine 1」の連携カリキュラム

月	単元名 (時数)	単元目標	活 動 例	表現例・語彙例	中学校との関連
			<p>◆数のたずね方や1~20の数の言い方に慣れ親しむ 【Let's Chant】 チャンツ “How many balls?” ○「キーナンバーゲーム」 【Activity 1】 「How many?クイズを作ろう」 【Activity 2】 「りんごがいくつあるかたずねよう」 ●あなたと同じ数のりんごを持っている友だちの名前を書こう。</p> <p>◆積極的に数を数えたり、尋ねたりしようとする。 【Let's Chant】 チャンツ “How many balls?” 【Activity 1】 「How many?クイズを作ろう」 ○「クイズを出し合おう」</p>		<p>◆ Program 4 リサイクル活動◆ ③ 数をたずねたり答えたりできるようにしよう 【How many の疑問文】 How many CDs do you have? have five CDs. balls, boxes, apples, bananas, pears, carrots, onions, cabbages, kids, same, Japan, be</p>
<p><連携のポイント> 数は児童生徒にとって身近なものであり、日常生活での使用場面も多く考えられる内容である。小学校では、数を使用した様々な場面を設定し、言語活動の幅を広げておくことで、中学校での発展的な内容につなげることができる。また、数字の聞き取りに慣れ親しむ中で、～teen、～tyなどの発音の特徴に気付かせることができ、中学校への接続が容易になる。中学校では小学校で学んだことを確認しながら、より正確な英語で表現できるように努めたい。</p>					
6	Lesson 4 I like apples. ～好きなものを伝えよう～ 果物 動物 食べ物 スポーツ (5)	<p>・好きなものについて、積極的に尋ねたり答えたりしようとする。 ・色や形、好きなものは何かを尋ねる表現に慣れ親しむ。 ・日本語と英語の音の違いに気付く。</p>	<p>◆日本語と英語の音の違いに気付き、好きなものや嫌いなものを表す表現を知る。 ○「先生の好きなもの・嫌いなものを知ろう」 【Let's Play 1】 「おはじきゲーム」～おはじきを使ってやってみよう。 ○「ミッシングゲーム」 ○「キーワードゲーム」 【Let's Chant 1】 チャンツ “I like apples.”</p> <p>◆好きなものや嫌いなものを表す表現に慣れ親しむ。 【Let's Chant 1】 チャンツ “I like apples.” ○「キーワードゲーム」 ○「ジェスチャーゲーム」 ○「集中力ゲーム」 【Let's Listen 1】 「誰が何を好きなのか、線で結ぼう」</p> <p>◆好きなものを尋ねる表現に慣れ親しむ。 ○「好きか嫌いか答えよう」 【Let's Chant 2】 チャンツ “Do you like apples?” 【Let's Listen 2】 「好きなものには○を、嫌いなものには×を書いて、表を完成しよう」 ○「○×クイズ」 ○「誰が好きか予想しよう」</p> <p>◆積極的に好きなものや嫌いなものを尋ねたり答えたりしようとする。 【Let's Chant 2】 チャンツ “Do you like apples?” ○「ステレオゲーム」 【Activity】 「友だちの好き嫌いを予想して、インタビューしよう」 ○「仲間を見つけよう」</p> <p>◆自分の好きなものや嫌いなものについて積極的に伝え合おうとする。 【Let's Chant 2】 チャンツ “Do you like apples?” ○「仲間を見つけよう」 ○Who am I?クイズ」</p>	<p>I like apples. I don't like bananas. Do you like baseball? Yes, I do. / No, I don't. I, you, like, do, yes, no, not apple(s), strawberry(ies), cherry(ies), peach(es), grape(s), kiwi, fruit(s), lemon(s), banana(s), pineapple(s), orange(s), melon(s), ice cream, milk, soccer, swimming, basketball, bird(s), rabbit(s) dog(s), cat(s), spider(s)</p>	<p>◆ Let's Start ◆ 3 自分のことを言ってみよう ◆Program 3 ウッド先生がやってきた◆ ①自分の好きなことや、ふだんすることを言えるようにしよう。 【一般動詞(肯定)】 speak, have, like I like music. I like music too. I play the piano. I'm new here. I like music very much. ②相手の好きなものについてたずねたり答えたり、自分の好きでないもの言ったりできるようにしよう。 【一般動詞(疑問・否定)】 Do you eat sushi? Yes, I do. /No, I don't like sushi. drink, coffee, cola, tomato juice, vegetable juice, love, read, watch ◆ My Project 1 ◆ 自己紹介をしよう</p>
7					
<p><連携のポイント> 好きな物や嫌いな物を相手に伝えることは、自分を理解してもらう上で重要な表現である。小学校では、食べ物や動物、スポーツなど、日常生活で親しみやすい物の簡単な好き嫌いの表現に慣れ親しませ、中学校でのより深められた表現へと発展させる。また、小学校では、バナナやオレンジなど日本語と英語の音の違いにも気付かせ、英語への興味・関心を高めさせたい。</p>					

「Hi, friends! 1」と「Sunshine 1」の連携カリキュラム

月	単元名 (時数)	単元目標	活 動 例	表現例・語彙例	中学校との関連
9	Lesson 5 What do you like? ～友だちにインタビューしよう～ 色形 (4)	<ul style="list-style-type: none"> 好きなものについて、積極的に尋ねたり答えたりしようとする。 色や形、好きなものは何かを尋ねる表現に慣れ親しむ。 日本語と英語の音の違いに気付く。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆日本語と英語の音の違いに気付き、色や形の言い方に慣れ親しむ 【Let's Listen 1】 「何番のTシャツか、考えよう」 【Let's Listen 2】 「だれが何番のTシャツが好きか、○に番号を書こう」 ○「おはじきゲーム」 【Let's Chant】 チャンツ “What color do you like?” 	What do you like? What animal/ color/ fruit/ sport do you like? I like rabbits/ red/ bananas /soccer. I, like, you, do, yes, no, don't, red, blue, yellow, pink, green, brown, orange, purple, black, white, T-shirt, heart, star, circle, triangle, animal, color, fruit, sport What do you want?	<ul style="list-style-type: none"> ◆Program 4 リサイクル活動◆ ①相手に何をするのかをたずねたり答えたりできるようにしよう。 【Whatの疑問文】 What do you study on Monday afternoon? I study English and Japanese. breakfast, rice, miso soup, natto, cereal, bacon, ham, cheese, juice
			<ul style="list-style-type: none"> ◆どのようなものが好きかたずねる表現に慣れ親しむ。 ○ポインティングゲーム」 ○「ミッシングゲーム」 【Let's Chant】 チャンツ “What color do you like?” ○「ラッキーカードゲーム」 		
			<ul style="list-style-type: none"> ◆どのようなものが好きかたずねる表現に慣れ親しむ。 【Let's Chant】 チャンツ “What color do you like?” 【Let's Listen 3】 「さくらとたくのTシャツは何番か、考えよう」 【Let's Play】 「友だちにTシャツを作ろう」 ○「カテゴリ分け」 【Let's Chant】 チャンツ “What color do you like?” 		
			<ul style="list-style-type: none"> ◆好きなものについて、積極的に尋ねたり答えたりしようとする。 【Let's Chant】 チャンツ “What color do you like?” 【Activity】 「友だちに何か好きか、インタビューしよう」 		
<p><連携のポイント> 好きな物や嫌いな物を相手に伝えることは、自分を理解してもらう上で重要な表現である。小学校では、食べ物や動物、スポーツなど、日常生活で親しみやすい物の簡単な好き嫌いの表現に慣れ親しませ、中学校でのより深められた表現へと発展させる。また、小学校では、バナナやオレンジなど日本語と英語の音の違いにも気付かせ、英語への興味・関心を高めさせたい。</p>					
11	Lesson 6 What do you want? ～アルファベットをさがそう～ アルファベット 大文字 身の回りの物 (4)	<ul style="list-style-type: none"> 積極的にアルファベットの大文字を読んだり、欲しいもの尋ねたり答えたりしようとする。 アルファベットの文字とその読み方とを一致させ、欲しいものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 身の回りにはアルファベットの大文字で表現されているものがあることに気付く。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆身の回りには様々なところにアルファベットの大文字が使われていることに気付くとともに、アルファベットの大文字とその読み方を知る。 ○「何を表しているか考えよう。」 【Let's Play 1】 「アルファベットの大文字をさがそう。」 【Let's Play 2】 	The 'A' card, please. アルファベットA～Z one～thirty what, do, you, want, please.	<ul style="list-style-type: none"> ◆Program 1 アルファベット◆ ①アルファベットになれよう 【大文字】 A, B, C, D, E, F, G, H, I, J, K, L, M, N, O, P, Q, R, S, T, U, V, W, X, Y, Z 【小文字】 a, b, c, d, e, f, g, h, i, j, k, l, m, n, o, p, q, r, s, t, u, v, w, x, y, z
12			<ul style="list-style-type: none"> 「ポインティングゲーム」 【Let's Chant】 チャンツ “Alphabet Chant” ○「キーアルファベットゲーム」 <ul style="list-style-type: none"> ◆アルファベットの大文字とその読み方を一致させるとともに、欲しいものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 【Let's Chant】 チャンツ “Alphabet Chant” 【Let's Play 2】 「ポインティングゲーム」 【Let's Listen 1】 「アルファベットの大文字や数を線ぼう」 ○「何のアルファベット大文字かな？」 ○「ピンゴ・ゲーム」 【Let's Chant】 チャンツ “What do you want?” 		<ul style="list-style-type: none"> ② アルファベットが表す音を聞いてみよう apple, cake, bag, cat, city, dog, egg, evening, fish, girl, giant, house, Internet, ice cream, juice, key, lion, milk, name, orange, nose, pen, quiz, room, sun, tennis, uncle, uniform, volleyball, watch, six, yellow, zoo ③ アルファベットを書こう 【大文字】 A to Z 【小文字】 a to z

「Hi, friends! 1」と「Sunshine 1」の連携カリキュラム

月	単元名(時数)	単元目標	活動例	表現例・語彙例	中学校との関連
			<p>◆アルファベットの大文字とその方を一致させるとともに、欲しいものをたずねたり答えたりするに慣れ親しむ。</p> <p>【Let's Chant】 チャンツ “Alphabet Chant” 【Let's Chant】 チャンツ “What do you want?” ○「ラッキーカード・ゲーム」 【Let's Play 3】 「カード集めゲーム」 【Activity】 「見つけたアルファベット大文字を書こう」</p> <p>◆積極的に欲しいものをたずねたりしようとする。</p> <p>【Let's Chant】 チャンツ “Alphabet Chant” 【Let's Chant】 チャンツ “What do you want?” 【Let's Play 3】 「ほしいアルファベット大文字カードを集めよう」 ○「アルファベット辞典を作ろう」</p>		
			◆積極的にアルファベットの大文字を読もうとし、欲しいものをたずねたり答えたりしようとする。		
			<p>【Let's Chant】 チャンツ “Alphabet Chant” 【Let's Chant】 チャンツ “What do you want?” ○「アルファベット辞典を作ろう」</p>		
<p><連携のポイント> 本単元は、小学校では、初めてアルファベットの文字を題材とする単元である。ここでは、アルファベットの大文字を知り、その読み方に慣れ親しむとともに、身の回りにはアルファベットの大文字の表示がたくさんあることを知ることで、世界がつながっていることを感じさせる。小学校での文字の学習は、児童の学習負担に配慮し、音声によるコミュニケーションを補助するものであることを十分踏まえて指導を行い、中学校での発音とつづりの関係を学ぶ学習へと発展させていく。</p>					
12	Lesson 7 What's this? ～クイズ大会をしよう～ 身の回りの物 (5)	<p>・ある物について積極的にそれが何かと尋ねたり、答えたりしようとする。</p> <p>・ある物が何かと尋ねたり、答えたりする表現に慣れ親しむ。</p> <p>・日本語と英語の共通点や相違点から、言葉のおもしろさに気付く。</p>	<p>◆様々なものの言い方から、言葉の面白さに気付くとともに身の回りの語に慣れ親しむ。</p> <p>【Let's Listen】 「□の中は何か、考えよう」 【Let's Play】 「ポイントゲーム」 【Let's Chant】 “What's this?”</p> <p>◆あるものが何かをたずねたり答えたりする表現に慣れ親しむ</p> <p>【Let's Chant】 “What's this?” 【Activity】 「クイズ大会をしよう」 ①シルエットクイズ ②漢字クイズ ③スリーヒントクイズ ④パズルクイズ</p> <p>◆あるものが何かをたずねたり答えたりする表現に慣れ親しむ</p> <p>【Let's Chant】 “What's this?” ○「ブラックボックスクイズ」 ○「背中の絵は何？」 ○「クイズ大会をしよう！」 ◆積極的にある物が何かをたずねたり答えたりしようとする。</p> <p>【Let's Chant】 “What's this?” ○「クイズ大会をしよう！」</p>	<p>What's this? It's a piano. What do you want? what, is, this, it, cat, mat, cap, tomato, pineapple, guitar, banana, piano, baseball</p>	<p>◆ Program 5 国際フードフェスティバル◆ ① 友だちや身の回りの物を紹介したり、たずねたり答えたりできるようにしよう 【this, thatこれは～、あれは～】 This is my bag. Is that your bag? Yes, it is. /No, it isn't. ballpoint pen, mechanical pencil, marker, eraser, dictionary, notebook, come, with, different, table, bread, a little</p>
1	Lesson 8 I study Japanese. ～「夢の時間割」を作ろう～ 教科 曜日 (5)	<p>・時間割について積極的に尋ねたり答えたりしようとする。</p> <p>・時間割についての表現や尋ね方に慣れ親しむ。</p> <p>・世界の小学校の学校生活に興味をもつ。</p>	<p>◆曜日や教科などの言い方を知る。</p> <p>【Let's Play 1】 「スリーヒントクイズ」 ○「ポイントゲーム」 【Let's play 2】 「キーワードゲーム」 【Let's Listen 1】</p> <p>◆曜日や教科などの言い方に慣れ親しむとともに、外国の小学校と自分たちの学校生活の共通点や相違点に気付く。</p>	<p>I study math on Monday. What do you study on Tuesday? Sunday ~ Saturday, Japanese, English, math, social studies, science, P.E., music, arts and crafts, calligraphy, study, on, I, you, what, do</p>	<p>◆Word Web 2 ◆ 【曜日の言い方】 What day is it today? It's Wednesday. Sunday, Monday, Tuesday, Wednesday, Thursday, Friday, Saturday</p> <p>◆Program 4 リサイクル活動◆ ①相手に何をするのかをたずねたり答えたりできるようにしよう。 【Whatの疑問文】</p>

「Hi, friends ! 1 」と「Sunshine 1 」の連携カリキュラム

月	単元名 (時数)	単元目標	活 動 例	表現例・語彙例	中学校との関連
2			<p>【Let's Sing】歌 “Seven Days” ○「カルタゲーム」 ○「ビンゴゲーム」 【Let's Chant】 チャンツ “What do you study ?” 【Let's Listen 2】 「どんな学校生活か、わかったことを書こう」</p> <p>◆時間割についてたずねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 【Let's Sing】歌 “Seven Days” 【Let's Chant】 チャンツ “What do you study ?” 【Let's Play 3】 「あなたの好きな教科名とその理由を書こう」 ○「時間割を聞き取ろう」 ○「仲間をさがそう」</p> <p>◆時間割について、積極的にたずねたり答えたりしようとする。 【Let's Chant】 チャンツ “What do you study ?” ○「ペアで伝え合って時間割を完成させよう」 【Activity】「夢の時間割を作ろう」 ●さくらとたくの夢の時間割を聞いて書こう。</p> <p>◆時間割について、積極的に伝え合おうとする。 【Let's Chant】 チャンツ “What do you study ?” ○「グループで夢の時間割を作ろう」 ○「作った夢の時間割を紹介しよう」</p>		<p>中学校との関連 What do you study on Monday afternoon? I study English and Japanese. Breakfast, rice, miso soup, natto, cereal, bacon, ham, cheese, juice</p>

<連携のポイント>
外国の小学生が、どのような学校生活を送っているのかは、児童生徒の関心の高い内容である。外国の学校生活を知ることで、外国語や海外の国々の文化についての興味関心も高まると思われる。小学校で繰り返し学ぶ教科名や曜日などの内容については、中学校でも同様の内容を取り入れながら、より発展的な内容へとつなげていく。

2	<p>Lesson 9 What would you like? ～ランチメニューを作ろう～ 料理 (④)</p>	<p>・欲しいものについて丁寧に積極的に尋ねたり答えたりしようとする。 ・欲しいものについての丁寧な表現の仕方や尋ね方に慣れ親しむ。 ・世界の料理に興味をもち、欲しいものを尋ねたり言ったりする、丁寧な表現があることに気付く。</p>	<p>◆丁寧な言い方で欲しいものをたずねたり、答えたりする表現を知る。 【Let's Listen 1】 「さくらとたくのフルーツパフェはどれか考えよう」 【Let's Play】 「友だちにフルーツパフェを作ろう」 ○「ビンゴゲーム」 【Let's Listen 2】 「だれが何を注文したのか考えよう」</p> <p>◆丁寧な言い方で欲しいものを尋ねたり、答えたりする表現に慣れ親しむ。 【Let's Listen 2】 「だれが何を注文したのか考えよう」 【Let's Chant】 “What would you like?” ○「ビンゴゲーム」 ○「仲間さがしゲーム」</p> <p>◆積極的に丁寧な言い方で欲しいものをたずねたり、答えたりしようとする。 【Let's Chant】 “What would you like?” 【Activity 1】 「ランチメニューを作ろう」</p> <p>◆世界には様々な料理があることを知り、相手意識をもって丁寧な言い方で欲しいものをたずねたり答えたりしようとする。 【Let's Chant】 “What would you like?” 【Activity 2】 「どこの国の給食か口に番号を書こう。オリジナル給食を作り合おう」 ○「スペシャルランチを作ろう」</p>		
---	---	--	---	--	--

<連携のポイント>
料理は、児童生徒にとっては興味関心の高い話題の一つであり、意欲をもって学習に取り組むことができる。また、料理を通して、世界の文化や習慣の違いに気付くことができる。小学校では、簡単な語句や文章に慣れたりオリジナル・ランチ・メニューを作ったりして、楽しみながらほしいものを尋ねたり答えたりする表現に親しみ、中学校での、朝食や夕食も含めた食事に関する様々なコミュニケーションへとつなげていきたい。